

2020年8月24日

神戸学院大学総合リハビリテーション学部
作業療法学科の学生の皆様・保護者の皆様

夏季休暇中及び後期における実習系・演習系（実技系）科目の対面授業について

謹啓、平素より本学作業療法学科の教育につきましてご協力を賜わり有難うございます。

この度は、新型コロナウイルス感染症が再拡大しており、御心配が多い毎日を送っていただけることとお察し申し上げます。

後期授業に対する現時点での本学の方針は、学長からのメッセージにある通りです。

<https://www.kobegakuin.ac.jp/news/4e3c6675e2dd8e3e1c47.html>

しかしながら、当学科では後期の夏休み期間中及び後期授業中に、実習系・演習系（実技系）の科目は国家試験受験資格（条件）に必須であること、また臨床実習に対応するための重要な授業であるため、対面授業を行う予定にしています。無論、授業にあたっては、本学の感染防止指針を遵守するだけでなく、最大限の感染防止する所存ですが、今般の状況から、通学中や授業中に学生さんが感染する可能性は、残念ながらゼロには出来ないと判断しています。特に、同居家族に高齢者や基礎疾患のある方等、感染予防を強く求められる方がおられる場合、無症状や学生がキャリアー（感染伝達者）になる虞れも否定できません。これら感染予防が特に必要な同居家族がいるにも関わらず、濃厚接触を避ける等の環境作りが出来ない学生の有無を確認する必要があると考えました。更に、若年者でも基礎疾患がある場合には重症化のリスクを否定出来ません。

これらの懸念を学生及び御家族が持つておられるかを確認するために、学生さんに対して説明会およびアンケートを行うこととしました。

説明会はZoomを、アンケートはMicrosoft Formsを用いて行うことを予定し、この方法が困難な学生さんに対しては、担任からの直接連絡する等の方法を取ることにします。

説明会への参加、アンケートへの協力宜しくお願い申し上げます。

今後も、学生の学習確保と感染防止の両立に向けて、我々作業療法学科教員は最善を尽くす所存ですので宜しくお願いいたします。

謹白

神戸学院大学
総合リハビリテーション学部
作業療法学科 学科長
阪井 一雄